

報道関係者各位

県民へのクマに対する注意喚起について

昨日、8月8日（火）午後、真室川町大沢地内の山中でキノコ採りをしていた方がクマに襲われる人身被害が発生しました。これからの時期は、行楽やキノコ採りなどで山を訪れる方が多くなります。県内での人身被害はキノコ採りの際に多く発生しており、また、今年はブナの実りが凶作の見込みとなっており、今後もクマの人里への出没が予想されま

す。
このため、人身被害の防止に向け、下記を参考に、県民に注意を喚起して下さるよう御協力をお願いいたします。

記

○ クマから見れば、森林は自分の領分。人は侵入者です。音の出る物で、クマに自分の存在を知らせましょう。

クマにとっては、人は侵入者だということを忘れずに、周囲に十分注意してください。山や林に入るときは、ラジオやクマ避けの鈴、笛など、音の出る物で、自分の存在をクマに知らせましょう。また、山には複数人で入るようにしましょう。

○ クマの出没情報があったところには近づかないでください。

県ホームページ「山形県クマに関する情報」－「クマ目撃マップ」に出没情報を掲載しています。（[山形クマ](#)で検索）

○ 子連れのクマに注意してください。

子グマを見たら、近くに母グマがいると思ってください。危険ですので、周囲に注意しながら、できるだけ早く遠ざかりましょう。

○ 万一、クマに出会ったら、落ち着いてゆっくりとその場から離れてください。

（市販されているクマ撃退用スプレーの使用も有効です。ただし、使用するに当たっては注意事項をよく御確認ください。）

○ 餌となる取り残しの果実や家の周囲のハチの巣を除去してください。

また、餌付けとなる生ゴミなどを放置しないでください。

○ クマの移動経路となるやぶなどは刈払うようにしてください。

（参考）

山形県内におけるクマによる人身被害

令和4年度 2件

令和5年度 3件（今回の被害を含む）

（担当）

環境エネルギー部みどり自然課
課長補佐（野生生物対策担当） 鈴木

TEL：023-630-3042

〔報道監〕

環境エネルギー部次長

荒木